



< お知らせ > 第 77 回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの受講者募集

日時：令和5年10月8日(日) 8:30~19:15 (予定)

令和5年10月9日(月・祝) 8:30~18:00 (予定)

会場：岩手県薬剤師会館 (盛岡市馬場町 3-12)

募集人数：薬局薬剤師 15名

※ 申込者多数の場合は、当会実務実習受入対策委員会で選考します。

参加費：40,000円 (参加費は会社が補助します。)

申込方法：下記のURLのフォームより、申込みください。

<https://forms.gle/5QC4doqjGXRZZy7GA>



申込期限：8月7日(月)

問合せ先：岩手県薬剤師会事務局 (担当：熊谷) TEL 019-622-2467

< お役立ち情報 > 太りやすい傾向のある抗精神病薬は？

抗精神病薬や抗うつ薬の代表的な副作用に「体重増加」があり、患者からも、「薬を飲み始めて太ってきた・・・」とかの話を聞くことがあると思います。ここでは、なぜ太るのか、太りやすい薬剤にはどのようなものがあるか等について解説します。

主に次の3つの作用が関係しています。

- ① ヒスタミン受容体を遮断するため (H1 受容体遮断)
ヒスタミンは視床下部にある満腹中枢を刺激するため、遮断することで満腹感が得にくくなることと、食欲を増加させるグレリンというホルモンが増加する。
- ② セロトニン受容体 (5HT2c) を遮断するため
5HT2c 受容体は視床下部の満腹中枢にあり、遮断されることで満腹感を感じにくくさせて食欲増進に働く
- ③ 抗うつ薬で増えたセロトニンによる代謝抑制
セロトニンによって身体はエネルギーの消費を抑えるようになり、代謝量が少なくなると太りやすくなる。

< 抗精神病薬の太りやすさの比較 (表 2) >

1980 年代後半より使用が可能となった非定型抗精神病薬〔リスパリドン、クロザピン、オランザピン、クエチアピン、アリピプラゾール等〕は、定型抗精神病薬 (ハロペリドール、フルフェナジン等) でのパーキンソン様副作用 (振戦、筋強剛、シストニア等) や遅発性ジスキネジアの発症頻度が低い一方、体重増加、耐糖能異常、脂質異常など、代謝系の副作用を引き起こしることが多くの研究で明らかにされています。特に体重増加は、オランザピンとクロザピン内服による顕著な副作用です。代表的なメタ解析では、オランザピン、クロザピンの 10 週間の内服による平均体重増加はそれぞれ 4.5kg、4.2kg でした。また、リスパリドンでも平均で 2kg の体重増加がありました。

【引用文献】

抗精神病薬服用者の肥満；Web 医事新報
<https://www.jmedj.co.jp/journal/paper/detail.php?id=3813>
抗うつ剤は太りやすい？
<https://cocoromi-mental.jp/cocoromi-ms/psychiatry-medicine/antidepressant/comparison-fat/>

< 抗うつ薬の太りやすさの比較 (表 3) >

抗うつ薬の太りやすさの順番は以下のようになります。

NaSSA ≧ 三環系 > パキシル ≧ 四環系・SSRI > SNRI

< まとめ >

このように抗精神病薬の中でも体重増加が起こりやすい薬が存在します。特に女性の患者さんの場合、体重を気にされる方も多くいると思います。

「急に太ってきた」、
「食べる量も変わらないのに体重が増えてきた」

といった相談が薬剤師にあった場合は、患者の同意を得た上で、主治医にトレーニングレポートで太りにくい薬剤を提案するなど情報提供して服薬情報等提供料 2 を算定することも可能です。

表 2. 抗精神病薬の太りやすさ (カッコ内は代表的商品名)

太りやすい	やや太りやすい	太りやすい傾向	太りにくい
オランザピン (ジプレキサ) クロザピン (クロザリル)	リスパリドン (リスパタール) クエチアピン (セロケル) クロロプロマジン (コントミン)	パリパリドン (インヴェガ) ペロスピロン (ルーラン) アセナピン (ジクレスト)	プロナンセリン (ロナセン) アリピプラゾール (エビリファイ) フレキシプラゾール (レキサルティ) ハロペリドール (セレネース)

表 3. 抗うつ薬の太りやすさ (カッコ内は代表的商品名)

太りやすい	やや太りやすい	太りやすい傾向	太りにくい
三環系 Amitriptyline (トリアゾール)	イミプラミン (トランコール)	四環系 Mianserin (テトラミド)	SNRI Duloxetine (サインバルタ)
NaSSA Milnacipin (リフレックス / ルメロン)	三環系 Amitriptyline (アモキサ)	SSRI Fluoxetine (ルボックス / デプロメール)	SNRI Venlafaxine (イフェクサー)
	三環系 Clomipramine (アナフラニール) Nortriptyline (ノリトレン)	SSRI Sertraline (ジェイロフト)	SNRI Milnacipran (トレミン)
	四環系 Maprotilin (ルジオミール)	その他 Sulpitrid (ドクマチール)	
	SSRI Paroxetine (パキシル)	その他 Trazodone (デジレル / ルスリン)	